

変動するマイワシ・マサバ資源の管理手法の開発

生物生態部

協力機関： 東大

研究の背景・目的

1. マイワシやマサバは数十年規模での資源変動を繰り返す
2. その原因の一つは地球規模での気候変動
3. 気候変動も考慮して、我が国のマイワシやマサバ資源の管理方を提言する

研究成果

1. マイワシの資源変動要因は、北太平洋上の大気の変動、マサバとの競合などによる親仔関係の変化(図)
2. 従って、親仔関係に応じた TAC(許容漁獲量)の基礎となる ABC(生物学的許容漁獲量)の設定が必要
3. 親仔関係が変化する過渡期は特に管理の強化が必要
 - (1) マイワシ減少期: 親は多いが子は少ないので、獲りすぎると資源は崩壊する
 - (2) マサバ増加期: 回復の芽を摘まないように、親魚が増加するまで小型魚の保護が必要

波及効果

1. マイワシ、マサバなどの水産資源の管理政策に中長期的展望をもたらす
2. 実際の資源管理に適用しながら改善を図る必要あり

